



5月22日 事前説明会

(10:35~11:20 クラスルーム)
 学習の意義や進め方を説明し、自宅から壊れたおもちゃや修理用具の持ち寄りを依頼
 ・テーマ: 考えようエコな生活 (使い捨てから、治して使う習慣へ)
 ・説明: 30分、質疑応答 15分
 ・生徒数: 27名
 ・おもちゃ病院の参加スタッフ: 男性(ドクター)3名、女性(ナース)1名



6月5日 集まった壊れたおもちゃ23個の仕分け作業

(13:00~15:00 研修室、参加ドクター12名・ナース2名)

- 1. 修理難易度仕分け:** 次の3区分に仕分け (1) 90分の授業時間内に修理できそうな**A区分**(教材に使う) **13個**、(2) 小学生では修理困難な**C区分**(後日修理して返却) **10個**、(3) AとCの中間の**B区分**(教材予備) **0個**、
- 2. 教材配分:** 教材おもちゃを各班に配分(なるべく、持ち主が自分のおもちゃ修理に関わるように配慮、おもちゃ病院のおもちゃストックから予備用教材10個を別途準備)
- 3. 部品・材料の準備:** 仕分け作業で判明した故障内容に応じて、修理に必要な部品・材料を学習当日迄に準備
- 4. C区分の修理:** 学習日までにおもちゃ病院で完了努力



子ども達の真剣な表情から、関心の高さと学習の効果が窺われた



ドクターの説明を聞く



はじめてのドライバー

6月20日 体験学習 (10:35~12:05 家庭科室)

27名の生徒は、6班に分かれて、班ごとにおもちゃの修理に挑戦。
 おもちゃ病院から参加のドクター14名とナース2名は、各班に分かれて、**考えさせる・相談に乗る・やってみせる・作業させる・手助ける・出来たら褒める** ステップで修理を指導。
 各班の机とは別に、**裁縫指導専用機**を置いて、裁縫を伴う修理をナースが集中的に指導した。
 学習後の「ふりかえり発表」では、生徒が体験した感動が、次々に発表された。
 当日迄の修理完了数は、生徒の持込みおもちゃ **16個** + おもちゃ病院で準備予備教材 **5個** で、入院となった7個は、おもちゃ病院で修理のうえ、持ち主に後日返却することにした。
 修理に要した部品・材料代は、従来通りおもちゃ病院で負担した。



ナースの手ほどきで縫い合わせ



知恵と手を出し合って